

令和5年度 日本土地家屋調査士会連合会 九州ブロック協議会 担当者会同 広報部会【議事録】

日時 令和5年10月21日13:30～17:00 22日9:00～12:00

場所 大分県大分市中央町4-2-5 ソレイユ（大分県労働福祉会館）

出席者

- 〔福岡会〕 多良俊一（広報部長）、森田清広（広報部理事）
- 〔佐賀会〕 高尾賢士（広報部長）【座長】、稲葉伸理（副会長）、久米貴之（広報部理事）
- 〔長崎会〕 竹永智彦（広報部長）、本田将之（広報部次長）
- 〔大分会〕 高橋崇直（広報部長）、保利健蔵（広報部次長）
- 〔熊本会〕 赤星和枝（広報部長）、吉田英二郎（広報部理事）
- 〔鹿児島会〕 内別府健（広報部長）、迫田圭介（広報部理事）
- 〔宮崎会〕 小堀正太郎（副会長・広報部長）、緒方将基（広報・社会事業担当理事）
- 〔沖縄会〕 近藤哲司（副会長）、諸喜田秀和（広報部長）

24提案を13議題に取りまとめ。

①「7月31日土地家屋調査士の日無料相談会について」

<p>福岡会 提案理由</p>	<p>今年度7月31日土地家屋調査士の日無料相談会の、各会相談件数前年度との比較を教えてください。 今年度7月31日土地家屋調査士の日無料相談会を県会会議室で電話相談にて行いました。しかしながら、相談件数が昨年の十数件から2件と激減しました。今年度は日本土地家屋調査士会連合会からの全国一斉無料相談会のポスター配布がなく、各法務局支局・出張所への広報ポスター掲示が出来なかったことが理由の1つかと考えました。来年度の土地家屋調査士の日相談会の広報活動として、単位会としての法務局への協力を検討したく、各会の相談件数を教えてください。</p>
<p>長崎会 提案理由</p>	<p>土地家屋調査士の日無料相談会の対応について 今年度より土地家屋調査士の日全国一斉不動産登記無料相談会がなくなり、それにともない日調連より助成金がなくなりましたが、他県会独自での対応についてお伺いいたします。 長崎会では、支部独自で会場を設けて半日、一日と開催しており、本会からは一部助成金を支出させていただきました。</p>
<p>回答</p>	<p>佐賀会 〈福岡会へ〉 令和4年度13件 令和5年度20件 広報不足であったと思われます。佐賀会では件数は例年と、さほど変わりませんでした。 〈長崎会へ〉 全国一斉から佐賀県一斉へと名称を変えて例年どおり開催しました。各支部で1～2カ所、計7カ所にて開催しました。 広報手段は 1.新聞広告（30万円程度/1紙）来年度は予算がなくなるため検討中。 2.テレビ出演（佐賀ローカル番組/30秒コーナー）（無料） 3.各会場の自治体の会報誌への掲載（無料、一部有料も有り）</p> <p>長崎会 〈福岡会へ〉 佐世保支部、諫早支部で4回行っている。相談件数は10件程度。昨年度は6件。支部からの事前相談あれば本会から助成金5万ほど出す。</p> <p>大分会 相談件数 昨年：7件 今年：4件 助成金 社会事業部が対応しており、日当を支払っている。</p> <p>熊本会 （社会事業部事業）7月31日土地家屋調査士の日無料相談会は実施しておりません。次年度以降の開催についても特にありません。</p> <p>鹿児島会</p>

	<p>7月31日調査士の日に各支部長の事務所にのぼり旗を出して相談会実施。(2件あり、いずれも相続案件の相談)</p> <p>宮崎会 例年、法務局の会議室をお借りして、事前予約制にして開催しております。今年度は3件の相談がありました。昨年度は1件のみです。コロナ禍前は、平成30年28名、令和元年26名。ポスターについては、日調連に確認し、前年のものを加工し作成しました。</p> <p>沖縄会 昨年度11件(個別事務所対応)、今年度42件(7支部の合計/半分は権利関係)今年度の無料相談会は9月15日前後に支部単位で丸一日県庁と主な市役所、町村役場で開催しました。各支部には本会から活動費として3万円を助成して、広報ポスター・ノボリは前年度までのものを利用しました。また、地方新聞に広告を有料・無料掲載しています。(16万前後)</p>
②「広報効果反響の数値化実施事業について」	
福岡会	各会広報活動において、効果反響の数値化実施を行っている事業があれば、教えて頂きたい。
提案理由	各会広報活動での、効果反響の数値化実施事業があれば教えて頂き、その方法(分析方法)を教えてください。 例：出前講座等でのアンケート実施、無料相談会・紛争解決相談の問い合わせでの広告媒体アンケート等
回答	<p>佐賀会 数値化は行っていませんが、すぐに成果が出なくても、ゼロであっても続けるとこに意味があると考えております。出前授業では生徒さん達からのご厚意で感想文をもらうことはたまにあります。無料相談等でのアンケートは取っておりません。</p> <p>長崎会 現時点で、広報活動での効果反響の数値化実施を行っている事業はありません。アンケートは支部単位で取っていたところもあるようだが把握できていない。</p> <p>大分会 特に数値化実施は行っていません。今年は高校で出前授業を行う予定なのでアンケートを取ってみようと思っている。</p> <p>熊本会 効果の数値化については実施しておりません。出前授業後のアンケートも実施しておりませんが、大変興味深いです。他会の取り組みをぜひお聞きしたいです。</p> <p>鹿児島会 効果反響の数値化実施は行っていません。簡単なアンケートは取っている。</p> <p>宮崎会 無料相談会、ADRにおいてアンケートをとり集計はしているが、特に分析等は行っていない。</p> <p>沖縄会 広報活動においての効果反響の数値化事業は行っていませんが、本年度から無料相談会時に相談者にアンケートを実施しております。</p>
③「中長期計画の広報事業について」	
福岡会	各会広報活動において、中長期計画での広報効果を考慮して行っている事業があれば、教えて頂きたい。
提案理由	新たな広報活動の選択肢を広げていきたい。 例：受け入れ側(学校・企業等)からの好評による継続事業・広報効果として実績が明白であり、長期的に継続している広報事業等
回答	<p>佐賀会 基本的には、全部の広報活動自体が中長期に渡って行うものと考えています。新たな広報活動の選択肢も大事ではありますが、継続活動をしていく、またはして</p>

	<p>いけることに赴きを置いて活動していくことが大事だと思います。</p> <p>長崎会 工業高校（年1回20年ほど実施）、ポリテクセンターでの出前授業、イベントでのブース出展を継続的に計画しています。</p> <p>大分会 特に計画的なものはないが、今年から工業高校に絞って継続してやっていこうと思っている。</p> <p>熊本会 広報活動自体が、特に学生を対象とした事業については、すぐに結果（受験生増加、知名度アップ）が現れるものではないと考えます。 しかし、昨年度、専門士業団体で行っている大学への寄付講座を受講し、土地家屋調査士という仕事を知り、実際に地元（北九州）の調査士事務所に補助者として就職した学生がいました。</p> <p>鹿児島会 鹿児島支部では市役所の住民票等を入れる窓口封筒に調査士の広告を載せています。10年近く継続してやっている。（支部予算で実施） 年間部数は54,000部。費用は、約20万円。ここ数年は毎年実施しています。</p> <p>宮崎会 行っていません。地上絵についてもコロナの影響もあって行えてない。</p> <p>沖縄会 中長期計画の広報活動は行っておりませんが、現執行部では土地家屋調査士を目指したい人への裾野を広げたいという思いを持って検討課題として取り組んでいます。</p>
④「HP・SNS等について」	
佐賀会 提案理由	<p>YouTube についての対応について</p> <p>個人においてユーチューブ動画を作成されていますが、会として対応が必要かどうか、過大広告や隣接士業に関わる問題等懸念されますが、会として把握が困難であるがどう対応されているか各県の対応をお伺いしたい。</p> <p>〈対応〉 把握していないが、最近入会された方が動画をアップすることを事前に連絡されたので注視しているところです。</p>
長崎会 提案理由	<p>土地家屋調査士会のホームページにおける広報部の関りについて</p> <p>今年度から年2回（11月、3月）のWEB会報を発行の予定で進めておりますが、WEBサイト（ブログや支部だより等）とも密接につながりがあると思われませんが、他県会として広報部（部長、次長、部員）が各県会のWEBサイトでどのように関わり、権限を持たれているかお伺いしたいです。</p>
大分会 提案理由	<p>広報部としてSNS発信の際、顔や名前などプライバシーをどこまで掲載可能か</p> <p>個人のプライバシー侵害に心配が残るので確認したい</p>
熊本会 提案理由	<p>広報部として活動する「目標」とか「目的」を定めておられますか？</p> <p>SNS等で広報活動がされている先生方が全国におられますが、「一般の方の調査士への理解を深め、仕事をしやすくするため。」「調査士を増やすことで、社会に行き届いたサービスを提供できる」等目的を持って個人的に活動されています。</p> <p>各県の広報部としての活動目的を知りたい。</p>
沖縄会 提案理由	<p>HP・SNS等を利用した広報活動の予算</p> <p>土地家屋調査士という職業を未来に残すための手段に広報部の腕の見せどころがあると思います。</p> <p>将来調査士を目指す人が増えるように各単会HP上等で動画などで調査士業務を紹介している事例がありますか。（日調連にはありますね）</p> <p>その場合の予算はいかほどでしょうか。</p> <p>最近では個人の調査士がユーチューブ等にいろいろな状況での困りごと対応策などが紹介されています。</p>
回答	<p>福岡会 〈佐賀会へ〉</p> <p>SNS等で情報発信されている会員は複数おられると思いますが、福岡県会として把</p>

<p>握はしていません。  ただし、行き過ぎた情報や過激な発言等、度を超えた情報発信をされた方に対して削除をお願いする事例が今後起こりうる可能性はあると思います。  〈長崎会へ〉  WEBの権限等は事務局にお任せしています。  〈大分会へ〉  SNSに写真を投稿する前に本人から承諾を得れば問題ないのではないのでしょうか？  〈熊本会へ〉  根本的な課題として調査士の社会的認知度が低いことを実務上感じます。  「土地家屋調査士」を一般の方に認知して頂く事が目標であり、今後の課題であると思います。  〈沖縄会へ〉  現時点で動画撮影等の予算は計上していません。</p>
<p>佐賀会  〈長崎会へ〉  今年ホームページをリニューアルしました。  利用についてはこれからの検討課題ですが、全体的には一般の方が見られるようになっていますが、パスワードを設定した会員専用ページ、理事専用ページ、常任理事専用ページ、正副会長専用ページも作っています。  出前授業の生徒の写真は学校の先生に了解をもらってUPしている。  〈大分会へ〉  会報等で写真や動画をあげるときは、必ず載せることの許可をその場でもらっています。  〈熊本会へ〉  目標は定めていませんが、目的は「」内のおりです。  〈沖縄会へ〉  4～5万の予算がある。</p>
<p>長崎会  〈佐賀会へ〉  現時点で事案がないので、対応について検討していません。  〈大分会へ〉  プライバシーに関するものなので、関係する人には許可同意をもらってから発信すべきだと思います。また、同意が得られない場合はモザイク等で隠して発信すべきものであると考えます。  〈熊本会へ〉  イベントでのブース出展、各学校への出前授業の支援、テレビ局、ラジオ局へのCM作製支援を行い、土地家屋調査士の認知度の向上、土地家屋調査士制度の発信、会員同士のコミュニケーション、若い人材の興味を引くような職業紹介のPRを目的として、活動及び支援を行っております。  〈沖縄会へ〉  広報部において長崎会独自でホームページの工夫を行い、PRできるように考えていきたいです。現時点では、予算組はしていません。</p>
<p>大分会  〈佐賀会へ〉  過大広告や隣接土業に関わる問題等は、検討中  〈長崎会へ〉  県会とのWEBサイト関わりなし。WEB会報発行の予算を教えてください。  〈大分会へ〉  活動目的は、土地家屋調査士の認知度UP  〈沖縄会へ〉  広報活動の予算は約30万円</p>
<p>熊本会  〈佐賀会へ〉  個人への対応はしていない。  〈長崎会へ〉</p>

	<p>総務部担当。ホームページのリニューアルには至っていない。      〈大分会へ〉      SNS についての制限はない。      〈沖縄会へ〉      ホームページのリニューアルに100万の予算は取っているが、まだなされていないため予算はここ3年ほど持ち越されている。</p>
	<p>鹿児島会      〈佐賀会へ〉      YouTube については、現在把握できていません。動画アップの際は事前連絡をお願いして把握しやすい状況を作れたらと思います。      〈長崎会へ〉      ホームページは変更があった時に更新。      〈大分会へ〉      広報部として SNS は FACEBOOK のみ。      担当者を固定していません、最近は更新なし。      掲載事項の内容確認が必要になるかと思えます。      顔や名前等のプライバシーは懸念されます。      〈熊本会へ〉      広報部の目標や目的については「一般の方への調査士の認知や理解を深めて仕事(境界立会など)をより円滑に進めていけるようにする」      〈沖縄会へ〉      HP更新保守料として予算金額は約40,000円。</p>
	<p>宮崎会      〈佐賀会へ〉      個人での YouTube 動画の作成は把握しておりません。事前に動画をチェックすることはできないので、アップされたものに問題があれば、その都度注意していくしかないかと思えます。      〈長崎会へ〉      ホームページの管理については広報部が担当している。軽微な変更については事務局へ指示し行っている。レイアウトの変更等を伴う作業については外注。会報はホームページに掲載しているが、会員のみが閲覧可能。      〈大分会へ〉      SNS は利用していないが、地上絵等の写真は事前に学校へ承諾をとっている。      〈熊本会へ〉      特に定めてはいないが、地域の限定される広告などは行わず、県内全域を対象とする媒体への広告を行い、認知度の向上を目指している。      〈沖縄会へ〉      ホームページの管理費は年間12万円程度。</p>
	<p>沖縄会      〈佐賀会へ〉      個人への対応は今のところしていない。      〈長崎会へ〉      ホームページは個人のクリエイターに一部任せているが、うまく機能してない。少し問題視している。      〈大分会へ〉      ホームページに会員名簿は載せているが顔写真は載せていない。スナップ写真については許可が取れてない部分もある。      〈熊本会へ〉      特になし。</p>

⑤「広報活動の状況と課題について」

<p>長崎会          提案理由</p>	<p>土地家屋調査士の広報に伴うイベント活動の開催について          今年5月8日より新型コロナが5類に移行したことにより、イベント等も各地で制限がなくなり、コロナ禍前に行っていた通常での開催が増えてきていることと思えます。他県会におかれましては、今年度に土地家屋調査士に広報に伴うイベントで</p>
------------------------------	--

	<p>既に開催しイベント及び開催予定のイベントについてお伺いします。</p> <p>長崎会では、今年度も地元テレビ局、ラジオ局が主催する11月に開催予定のラブフェス2023にブース出展を予定しております。また、本年度は長崎地方法務局とも合同で一般市民向けにPR活動を行う予定です。</p> <p>一方、出前授業に関して今年度はポリテクセンター諫早で12月に、1月に長崎県内の公立高校（長崎県立鹿町工業高校）で出前授業を行う予定です。また、出前授業に関しては、学校（小学校、中学校、高校、専門学校）にPR活動を行い、新規開拓を目指していきたいです。</p>
大分会	<p>①出前授業の内容で、集客力のあるプランがないか</p> <p>②熊本会の地上絵プロジェクトについて、実施後のことを聞きたい</p>
提案理由	<p>①ドームの建物図面、大規模の測量図、収入、事務所内部、作業車、を考えているが、皆さんの意見も伺いたい。</p> <p>②改善点や、良かった点、調査士の広報としてPRがどの程度できたかなど教えていただき、今後のプロジェクト等行う際に参考にしたい</p>
沖縄会	<p>当会広報活動の状況と課題</p>
提案理由	<p>当会は他県会が行っている、(ラジオ、テレビ、SNSなど)を利用しての広報部単独での活動は今まで積極的には行っておりません。</p> <p>現状では内向きの会報誌やHPへの会員向け情報提供しか行っていませんでした。しかし、昨年より一念発起し土地家屋調査士の種をまこうと思い立ち、日調連からの資料をもって、県下(各高校、専門学校など)へ啓蒙活動を含めた計画を立ち上げましたが、実施までは至らず次年度へ繰越となりました。</p> <p>しかし、広報部長も変わったことを吉報として今年度こそはと、奮起する所です。各学校への訪問の際に、他県会の皆様の状況や活動報告を参考にし、また、出前講座などの情報提供を頂き、参考にしていきたいと思っています。</p>
回答	<p>福岡会 〈長崎会・沖縄会へ〉 大学向け社会連携講座を1つの私立大学(西南学院大学+1校予定)で行っています。企業向け社会連携講座では、3つの金融機関で行っています。</p> <p>〈大分会へ〉 ①ご訪問先のご要望を確認して、プランをご提案されると良いかと思えます。 ②福岡会としても教えていただき、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>佐賀会 〈長崎会へ〉 無料相談会、出前授業以外での独自イベントの開催予定はありません。</p> <p>〈大分会へ〉 ①受講対象者(年齢)に合わせて毎回少しずつプランを変えておりますが、主催者側から「昨年と同様に」という声が多いので、大幅な変更は行っていません。 ②佐賀では行ってないので、一度視察させていただけたらと思っています。</p> <p>〈沖縄会へ〉 出前授業の開催に関しては、学校側へのメリットを示さないと開催は難しいです。そこで最初は学校側からのインターシップを受け入れることで、出前授業の受け入れをお願いする手法を取りました。1度開催させてもらえたら、そのときの担当の先生に何回も継続のお願いを訴え続けました。異動の際も異動先での開催のお願いと異動前の引継ぎの先生への伝達をお願いしております。</p> <p>直接学校へ飛び込みを行ってはおりません。 地道で大変な作業労力と手間にはなりますが、是非ともがんばってみてください。 応援しております。</p> <p>長崎会 〈大分会へ〉 ①出前授業については、工業高等学校(佐世保工業土木科)、ポリテクセンター(職業能力開発促進センター)で今年度も行う予定ですが、土地家屋調査士収入の話は毎年行っています。また、土地家屋調査士の職務内容の紹介、簡単な測量実習は行っていますが、授業内容等は、他県会も参考にお伺いしたいです。 ②当会では諫早市内で同様の事業を過去に行った実績があるが、同じくお伺いしたいです。</p>

	<p>〈沖縄会へ〉 工業高校1校については、10年以上は継続的に出前授業を行っております。また、昨年からはポリテクセンターでも出前授業を開始しました。以前は、小学校、中学校、高校での出前授業を行っていた時代もあったようですが、長年継続的に行われているのは、工業高校1校のみとなっております。今後は、広報部として小学校、中学校、高校、ポリテクセンターなどへ、啓蒙活動として出前授業の拡大、職場体験等の新規開拓を行いたいと考えています。</p>
	<p>大分会 高校への出前授業を行っている コロナ後は今年度が久しぶりの開催の為、実施後展開できたらと思います</p>
	<p>熊本会 〈地上絵プロジェクト〉 小学校6年生を対象として、算数の縮図と拡大図を習得するタイミングで、実施している。約50分の座学と、100分のランドでの作業。 ランドではTSをつかった星形の素描と、GNSSをつかった宝さがし。今年度は11月2日に計画。 準備、当日の時間配分等、回数を重ねるごとに改良されている。学校、児童には大変好評である。 プレスリリースを流し、当日は地元新聞、テレビ局の取材があります。 〈くまもとお仕事探検フェアへの参加〉 熊本県下の高校生1.2年生を対象とし、熊本県内の企業、官庁、専門学校などがブース出展をして、各職業をPRする体験型のイベントへの参加を行っています。 〈九州測量専門学校での出前授業〉 (業務研修部事業) 九州測量専門学校での座学(1コマ90分)を行っている。講師は主に卒業生で、調査士業務のほか、報酬に関する話などで盛り上がるようです。 〈熊本大学寄附講座〉 (社会事業部事業) 熊本県の8つの専門士業団体(弁護士、司法書士、税理士、行政書士、不動産鑑定士、社会保険労務士、不動産鑑定士、土地家屋調査士)で、熊本大学法学部の後期2コマの授業をうけています。1士業で2回 出前授業開拓のため、県立工業高校を訪問しました。</p>
	<p>鹿児島会 ・イベントはまだ企画していません。 過去に工業高校での出前講座を支部で開催。県会から講師費用の補助を行った事があります。 鹿児島刑務所 測量士補講座を行っている。 土地家屋調査士受験も視野に勉強されている受刑者もいらっしゃるようです。(研修部担当の事業です) 出前授業の内容については、企画案を作成段階です。(1/10 鹿児島高専で開催決定。出身者がいる。) 毎年チャリティゴルフ大会を開催。 交通遺児支援の為、 「鹿児島県交通被災者たすけあい協会」へ寄付。</p>
	<p>宮崎会 ①広報部内で来期以降の広報活動として学校などを対象とした出前授業等を考案中です。</p>
<p>⑥「会報について」</p>	
<p>鹿児島会 提案理由</p>	<p>会報について 年何回の発行でしょうか。 ・発行部数は何部ですか。 ・会員以外の配布先 ・紙の冊子にしているか、ペーパーレス(ホームページ掲載等)であるか。</p>
<p>回答</p>	<p>福岡会</p>

	紙版、Web版をそれぞれ年1回で発行しています。 昨年の紙版発行部数：県会会員に672部、法務局9部、専団連8部、西南学院大学他5部、日調連14部、九州ブロック・他6県会に13部の計721部を配布しています。
	佐賀会 ・年1回 ・約150部発行 ・各会員、県内法務局の各支局や出張所、県内の各土木事務所、ご協賛いただいた方々、司法書士会、行政書士会など ・紙冊子のみの発行
	長崎会 会報ながさきとして、令和元年までは10月～11月頃、翌年2月～3月頃の年2回発行していました。1回目は冊子による会報、2回目はWEB会報として発行していました。令和2年からは月1回にマンスリーメールとして、会員に発行していましたが、広報部の負担もかなり多かったために、今年度は2回ともWEB会報の発刊として準備を進めています。なお、WEB会報については長崎県土地家屋調査士会のホームページにて掲載予定にしているため、過去の会報も含め会員以外の一般の方々にも閲覧可能にしています。
	大分会 年1回 部数は約170 会員以外は配布なし 紙媒体 HP掲載あり
	熊本会 ○年1回発行 ○400部 ○・管轄法務局 ・日調連 ・他都道府県調査士会 ・専門士業団体 ○紙冊子のほかHPに掲載
	宮崎会 ・年2回発行 ・270部 ・日調連、各会、法務局へ配布 ・紙、ホームページは会員のみ閲覧可能
	沖縄会 会報は年1回の発行で、会員への配布と沖縄士業ネットワーク協議会に参加している各会、及び那覇地方法務局へ寄贈しています。 発行部数は200部で、カラスキャンしたデータをホームページ上で誰でも閲覧できるようにしています。

⑦「広報グッズ等について」

大分会 提案理由	広報グッズについて 現状の広報グッズの把握をし、今後新しいグッズを検討したい 例：調査士向け・・・身につける物等 一般の方向け・・・ボールペン、メモ帳等
熊本会 提案理由	対外的な職業紹介でブース出展する際のブースの装飾品、グッズなどを作られていたら教えていただきたい。また、他のブースと差別化するためにされていること（展示品であったり、実演であったり）があれば教えていただきたい。 今年2回目の出展となる職業紹介フェアの参考にさせていただきたいと思ったため。
鹿児島会 提案理由	会員がグッズを作っている場合の広報部の協力について 会員が個人でグッズ（ポロシャツなど）を作っている場合があり、広報部としてど

<p>回答</p>	<p>のような協力ができるか</p> <p>福岡会 〈大分会へ〉 調査士向けとして、作業車に貼るステッカーは如何でしょうか？ 会員が乗る作業車が、そのまま広報に繋がると思います。 一般向けとして、例えばボールペンに「〇〇県土地家屋調査士会」の文字が刻まれていたとしても、土地家屋調査士自体を認知してない方が、それを手にしたとしても全く気につけないと思います。 そこで、「土地の境界問題は土地家屋調査士が解決します。」や「建物の新築・増築の登記は土地家屋調査士にご相談ください。」等の文言を印刷したトイレットペーパーを役場や公衆トイレに配布するのは如何でしょうか？ ↑コスト的にどうだろうとは思いますが。 〈熊本会へ〉 広報グッズは、広報ポスター・リーフレット・地域貢献活動時の法被、のぼり等になります。 〈鹿児島会へ〉 個人的なグッズ販売ならば県会としての協力は難しいと思います。</p>
<p>佐賀会 〈大分会へ〉</p>	<p>独自のグッズは、クリアファイルと付箋紙です。当日持参いたします。 〈熊本会へ〉 上記のとおりで、出前授業の際に生徒や先生方に配布しています。無料相談やその他のイベントでは配布していません。 〈鹿児島会へ〉 個人会員でグッズを作っている方はいませんが、よい物であれば推奨してもいいかと思えます。ただし費用負担に気を付けます</p>
<p>長崎会 〈大分会へ〉</p>	<p>独自の広報グッズは、長崎県土地家屋調査士会のネーム入りタオル、のぼり、ハッピー、境界紛争ゼロ宣言の垂れ幕があります。イベント出展では、風船、お菓子、タオル、日調連が作成した漫画やタオル等を配布予定。 出前授業では、タオルや日調連が作成した漫画やタオル等を配布予定。 〈熊本会へ〉 今年も開催されるラブフェスながさきに11月4日、5日でブース出展を行う予定。 測量機器を持ち込んでの実演、境界標識の標本の提示などは行っています。また、今年長崎地方法務局にも土地家屋調査士会のブースを提供して共同で出展を予定にしています。 〈鹿児島会へ〉 事例がないので、現時点では協力は考えていません。</p>
<p>大分会</p>	<p>ブースは出店経験なし グッズを身に着け広報活動を行う・グッズを含めた写真を撮影するなどいかがか</p>
<p>宮崎会</p>	<p>70周年記念事業として「調査士ジャケット」を作成し、希望者へ販売を行った。</p>
<p>沖縄会</p>	<p>広報グッズの作成はしておりません。</p>
<p>⑧「新規入会に関するPRについて」(宮崎会)</p>	
<p>宮崎会 提案理由</p>	<p>新規入会に関するPRは行っていますか？ 会員の高齢化が進んでおり、会員数が減少傾向です。 調査士試験に合格していても、入会に至っていないケースもあります。 PR活動など実施していれば教えていただきたい。</p>
<p>回答</p>	<p>福岡会 入会へのPRは行っていないですが、新人実務体験研修を行い実務経験の少ない新入会員や入会予定の方への研修を行っています。</p>

	佐賀会 広報部では行っていません。 合格証交付式に総務部が案内している程度
	長崎会 土地家屋調査士試験の合格者の情報を持ち合わせていないので、対応していません。
	大分会 行っていません
	熊本会 合格者説明会を行う際に、登録に関する総務、業務研修部、広報部、青年会、公嘱協会がPRしています。 調査士試験に合格したが、未経験の方たちに対して、修行受け入れの事務所の紹介を行っています。また、青年会は、調査士登録なしでも入会でき、研修や懇親会に参加できるなど、登録後の不安を少なくする試みを行っています。 未登録の合格者に対するPRは特に行っていません。
	鹿児島会 新規入会に関するPRは特に行っていません。 新人の方々に青調会に入会(会費無料)してもらうように促しており、そこからLINEグループへ登録→質問掲示板など(3グループほどある。)に参加してもらい日々の質問など意見交換している。 以前、合格証交付式に出席できなかった新人の方から青調会長へ連絡あり、一度話を聞きたいとの事で僕も同席し、その結果、即新規入会及び開業に至ったことがありました。
	沖縄会 コロナ禍以前は法務局での合格者伝達式の際に、調査士会会長も同席してお祝いの言葉を贈り、その後に調査士会で入会に関するオリエンテーションをしていました。しかし、コロナ禍になってからは、法務局での伝達式も無くなったため、合格者からの連絡を待ってオリエンテーションを行っています。
⑨「空き家対策に関する自治体へのPR活動について」(宮崎会)	
宮崎会 提案理由	空き家対策に関する自治体へのPR活動を行っていますか？ 3市町と空き家対策に関する協定を締結しています。 今後、調査・対策を含め調査士の能力を発揮できる場があると思いますが、実績等あれば教えていただきたい。
回答	福岡会 空き家対策に関する協定については、一般社団法人福岡県建築住宅センターと協定を締結し、空き家等の活用・処分の促進に貢献しています。ただし福岡会では、当該事業は業務部での事業となっています。
	佐賀会 空き家対策は社会事業部で対応しています。
	長崎会 空き家対策に関するものは、社会事業部で行っております。 島原市、新上五島町、佐世保市と協定を締結しており、会員が空家対策協議会等のメンバーとして活躍しています。
	大分会 行っていません。空き家対策に関する協定について、詳しくお聞きしたい。
	熊本会 (社会事業部事業) 特におこなってはいませんが、熊本市が開催している空き家対策会議に参加しています。他会の取り組みをうかがいたいです。
	鹿児島会 市町村と協議会に参加している状況ですが、広報部としてPR活動はおこなっていません。今後力を入れていきたいです。
	沖縄会 2市と空き家対策に関する協定を締結して、外2市の空家対策審議会に会員を推薦しています。

	<p>1市で年1～2回、審議会が開催され、議題は主に以下の内容となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家対策総合支援事業に係る実施計画の策定</li> <li>・特定空家の勧告</li> <li>・特定空家の改善状況報告</li> </ul> <p>他の3市ではコロナ禍以降、審議会の開催はありません。</p>
⑩「地方自治体と災害時の協定等について」（宮崎会）	
宮崎会 提案理由	<p>地方自治体と災害時の協定等は締結していますか？</p> <p>専門士業連絡協議会にて「大規模災害時における相談業務にかんする協定」を締結していますが、調査士会独自で締結していましたら内容を含め教えてください。</p>
回答	<p>福岡会 福岡県公嘱協会と共に、福岡県と災害が発生した場合における復興支援に関する協定を締結しています。ただし福岡会では、当該事業は社会事業部での事業となっています。</p> <p>佐賀会 災害協定は社会事業部で対応しております。</p> <p>長崎会 地方自治体と災害時の協定等は、総務部で行っております。 協定については、長崎県、長崎市、諫早市、大村市、島原市、雲仙市と締結しております。</p> <p>大分会 県及び公嘱協会と災害時における復興支援に関する協定を締結している。</p> <p>熊本会 （社会事業部事業）専門士業団体連絡協議会が、締結しており、災害時の無料相談会に参加することになっているようです。調査士会独自では締結していません。</p> <p>鹿児島会 鹿児島市をはじめ多くの地方自治体と災害時の協定等を締結しています。 内容は相談業務などの応援、調査のなどの支援などです。（社会事業部担当です）</p> <p>沖縄会 3市と災害時における支援に関する協定を締結し、外2市と締結予定で話を進めています。 今年の台風6号で災害救助法が適用された1市から災害支援の要請がありました。 市の職員も初めての経験であり、土地家屋調査士の業務についても詳しくなかったため、事前の協議を行い、調査士として出来る具体的な支援の内容を伝えたところ、今回の災害規模では市職員だけで対応が可能とのことで、支援にまでは至りませんでした。市の職員とも研修をやっていこうという話になっている。</p>
⑪「調査士試験受験者向けのオリエンテーションについて」（宮崎会）	
宮崎会 提案理由	<p>調査士試験受験者向けのオリエンテーションなど行っていれば教えてください。</p> <p>昨年度の全国広報担当者セミナーの中で、上記のオリエンテーションを行っている会があるとのことでしたが、実施していれば内容等を教えてください。</p>
回答	<p>福岡会 補助者研修会を行っています。この補助者研修会で、提携している受験予備校があります。補助者は土地家屋調査士資格試験受験者であることが多く、福岡会会員の補助者がこの受験予備校に通う際、学費の割引対象となっています。</p> <p>佐賀会 何も行っていませんが興味はありますので、情報をお願いします。</p> <p>長崎会 現時点では調査士試験受験者向けのオリエンテーションなどは行っていません。</p> <p>大分会 行っていない</p> <p>熊本会 （業務研修部事業）補助者を対象とした補助者研修会のなかで、調査士を目指してほしいというような内容を盛り込んでいます。（30分ほど） 調査士試験受験者向けのオリエンテーションは特に行っていませんが、実施している会があれば、詳しく伺いたいです。</p>

	鹿児島会 特に行っていません。
	沖縄会 受験者向けのオリエンテーションは行っておりません。
⑫「メディア媒体を使った広告について」(熊本会)	
熊本会	①知名度向上のため、メディア媒体を使った広告をされている会がありましたら、その費用対効果についてご教示ください。
提案理由	②大相撲九州場所での懸賞旗による広報活動について、その反響、効果はどうだったのでしょうか。また、各単位会で、これを生かすためにどのような広報活動をされたのでしょうか。 ①面白官公庁、郵便局に設置されている利用されている液晶ディスプレイ(デジタルサイネージ)に広告を出さないかという営業がきました。利用されている会がありましたら詳細を教えてください。そのほか、テレビCMやラジオなどを使った広告についての費用やその効果について知りたい。 ②面白い取り組みだと思いますが、今後続けていくうえで共有、蓄積していった方が良かったため。
回答	福岡会 ①メディア媒体を使った広告は行っていません。 ②反響、効果については、正確に把握できていません。
	佐賀会 ①佐賀市役所のエレベーター(3号機のみ)に広告を出しております。5000円/月だったと思います。効果はわかりませんが、たまに同業者から言われる程度です。 ②佐賀会でもミニサイズの懸賞旗を買いました。ただこれを佐賀会ではまだ生かしてはいないと思いますが、何かに役立てればと思っております。
	長崎会 ①官公庁、郵便局に設置されている利用されている液晶ディスプレイ(デジタルサイネージ)に広告については現時点では利用していない。 なお、今年もラブフェスながさき2023に出展を行い、テレビCM、ラジオCMなどを継続的に行う予定です。なお、テレビCMやラジオなどを使った広告についての効果については、データを取っている訳ではありませんが、会員からはそこそこの反響があったのではないかと報告を受けています。今年度は会長を含め役員改選があったために、継続してCM作製を行う予定です。 ②長崎会では、一定の会員から自費で懸賞旗のレプリカを購入して、事務所の目立つところに設置してあると回答がありました。
	大分会 特にやっておりません。
	鹿児島会 ・SNSはFACEBOOKのみ。今後SNSは活用していきたい。 ・市役所の窓口封筒の広告について③に記載しています。
	宮崎会 ①昨年、鹿児島会・大分会から報告のあった「おしごと本」へ掲載。CM素材などは2次利用可能。11月頃より配布、CM放送のため効果は不明。費用は50万円(税別)ほど。 ②反響、効果は分かりません。
	沖縄会 ①無料相談会の広告は地方新聞各紙で広告掲載していますが、その他については、メディア媒体を使った広告は行っておりません。 ②沖縄会では大相撲の懸賞旗による広報活動を総会、懇親会等で広めましたがその効果について追跡調査は行っていません。 大相撲は全国放送なので、土地家屋調査士という名前を広めるためにも予算が続く限りは続けた方が良くと思います。
⑬「謝礼について」(大分会)	
大分会	他会の謝礼金額を知りたい。

提案理由	(ボランティア活動を行った支部や、会報への投稿者への謝礼) 他会の状況を参考に、今後の当会の額を検討したい
回答	<p>福岡会 地域貢献活動を行った支部への助成金として金30,000円、広報紙の寄稿に5,000円分のクオカードを進呈しています。</p> <p>佐賀会 各支部のボランティア活動の場合は掛かった品代のみ負担。(日当は支払わない) 出前授業等の会務は会議等と同額日当支払い。 寄稿者謝礼は1寄稿につき図書券2000円分</p> <p>長崎会 現時点でボランティア活動を行った支部にお支払いしていない。 会報への投稿者への謝礼については、クオカード1000円分を支給しています。</p> <p>熊本会 ○会報への寄稿謝礼 5,000円(取材旅費等がある場合は別途支給) ○地上絵プロジェクトの参加 日当5,000円、昼食代1,000円</p> <p>鹿児島会 ・社会奉仕活動した支部に30,000円を交付。支部長から県会へ報告要す。 ・会報への寄稿した方へ3,000円の謝礼。 指宿菜の花マラソンへの寄付</p> <p>宮崎会 会報寄稿者へ図書券(3,000円)</p> <p>沖縄会 会報へ寄稿していただいた会員へ3,000円を原稿料として支払っています。</p>